

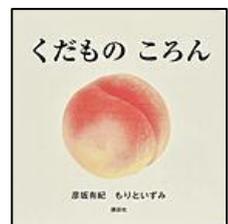
# あたらしい絵本

No. 478 2024. 7. 9



## 『あ! てんとうむし』 とうごう なりさ

・子どもが、てんとうむしを見つけました。手に乗せて遊んでいましたが、いつのまにか下に落ちこちて、草にのぼっていました。てっぺんの花のところにくと、はねをひろげて…。 (幼0~2歳)



## 『くだものころん』 彦坂 有紀・もりと いずみ

・りんご、ころん。ぶどう、ぎゅっ。さくらんぼ、ぷらーん。色や形が特徴的で、食卓にも登場回数が多いくだもの絵と、「ころん」「ぎゅっ」など、リズムカルな擬態語・擬音語を楽しめる絵本。 (幼0~2歳)



## 『ナガノさん まっちゃんアイスの巻』 長谷川 義史/絵

・いつも子どもたちに変なことを言って笑わせる人気者のナガノさん。なおちゃんの抹茶アイスを買うため、アイスクリーム屋さんを追いかけると、なぜか大勢の人がついてきて!? 楽しいお話。 (幼0~5歳)



## 『ねずみくんからのおくりもの』 絵/上野 紀子

・自分のチョコキと同じ色のリボンを、お母さんに編んでもらったねずみくん。ねみちゃんへの、ヒミツの贈り物です。でも、そこへ、いたずらビムくんがやってきました。ビムくんは、ヒミツは守ると約束しますが…。 (幼0~5歳)



## 『きみがいるから』 はしもと みお/絵

・階段をおりる足音。ちょっとだけはみ出た舌。おもちゃを狙う真剣な顔…。猫は友だち、猫は家族、猫は相棒。今日もありがとう。出会ってくれてありがとう。ずっと一緒にいようね。愛猫とのかけがえのない毎日を綴った絵本。 (幼0~5歳)



## 『ひいおばあちゃんのおおそうじ』 絵/よこみち けいこ

・お掃除が苦手なゆうくん。おもちゃを散らかしてお母さんにおこられてしまったゆうくんに、ひいおばあちゃんは楽しいお掃除のしかたを教えてくれて…。ゆうくんとひいおばあちゃんの大掃除のおはなし。 (幼0~5歳)



## 『もぐちゃんのおさんぽ』 たかどの ほうこ

・地面の下のもぐらマンションに住んでいるもぐちゃん一家。今日は、みんなでお散歩に。エレベーターや階段もあるけれど、もぐちゃんのお気に入りの、のぼり棒。うんしょ、うんしょと1階の玄関まで上がったたら、さあ、出発です。 (幼0~5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



『妖怪オノマトペ』 広瀬 克也／絵

・入学式。妖怪たちは、ドキドキ、おたおた、もじもじ、そわそわ。秋祭り。太鼓をドンドンドン、ちょうちはゆーらゆら…。妖怪たちの楽しい一年をオノマトペとともに紹介する。ユーモアたっぷりの妖怪絵本。  
(幼0～5歳)



『ミコばあちゃん』 あかえだ いづみ

・猫が大好きなミコばあちゃん。得意な編み物で、ねこぼうしと、上から下までのねこの服を編んで、自分も猫になっちゃった! 夜、猫たちにつられて、猫の姿で公園で遊ぶミコばあちゃんの前に現れたのは…。(幼3～5歳)



『くらくてふかいもりのおく』 デルフィーヌ・ブルネ／作・絵

・暗くて深い森の奥。オオカミの子どもたちは一日の終わりに、「ぎゅっして!」「絵本読んで!」と、次々におねだりします。でも、お母さんの歌声が聞こえると、そっと目を閉じ始め…。フランス発、おやすみなさいの絵本。  
(幼3～5歳)



『トラトラトラクター』 関根 立巳／え

・早朝、港町の運送会社を出発した、みどり色のトラクター。うしろには、長い台車がついています。埠頭で、自動車部品の入ったコンテナを載せたトラクターは、高速道路を走って自動車工場へ…。(幼3～5歳)



『ひとつぼし』 菊田 まりこ

・お絵かき、かけっこ、歌、ダンス…。みんなちがう、ひとつ星。きみの光は、きみだけのもの。「いつでも会える」の菊田まりこがあたたかいエールをおくる絵本。(幼0～5歳、小初)



『そうじきのなかのボンボン』 作・絵／加藤 絢子

・ふるい掃除機に住むボンボンとボンボンパパは、掃除機がすいこんだ「おもしろいもの」を使っておうちをつくり、のんびり暮らしていました。ところがついに掃除機がこわれ、掃除機のなかは静かで真っ暗になってしまい…。(幼3～5歳、小初)



『なすこちゃんとねずみくん』 こがしわ かおり／え

・ある夜、おなかをすかせたねずみくんは、畑へ出かけた。じゃがいもにかじりついたとき、なすの苗の陽気な歌声が聞こえてきて…。畑の生きものといのちを見つめる絵本。(幼3～5歳、小初)



『ちよっぴりながもちするそうです』 ヨシタケ シンスケ

・果物をおでこにのせると、大事なことが見づかりやすくなるそうです-。効果があるかも? ヨシタケ流おまじないが満載。「あつかったらぬげばいい」「かみはこんなにくちゃくちゃだけど」に続く、心がちよっぴり軽くなる絵本。(小、般)